

秋も深まってきましたね。プロムナードの紅葉もきれいに色づいています。気温が下がり、体調を崩しやすい時期ですから気を付けて過ごしましょう。

センター試験まで
あと50日

◎受験校決定へ

先週のLHRで入試スケジュールについて説明がありました。

その後行われた入試動向会での話にもありましたが、今年も厳しい戦いが予想されます。しかし、弱気になるのではなく、しっかりと戦略を練った出願を考えて受験に臨みましょう。

★UCARO（ウカロ）〔出願から手続きまでのサポートサービス〕の登録が必須な大学や導入している大学があります。（青山学院大・成城大・明治学院大・フェリス女子大など）

◎入試動向 ～第1回駿台・ベネッセマーク模試より～

★以下の数値は、前年度の志望者数を「100%」とした時の指数

国公立大	学部系統	私立大
96	全体	98
102	人文科学	99
97	語学	98
103	法学	99
102	経済・経営・商学	99
105	社会学	102
102	国際関係学	103
89	教員養成・教育学	94
104	生活科学	93
91	芸術学	97
99	総合科学	101
96	保健衛生学	96
93	医学	95
98	歯学	103
97	薬学	94
96	理学	93
94	工学	99
87	農・水産学	91

国公立大

- ◆全体の志望者減少が続く
- ◆理系の学部系統で志願者が減少
- ◆推薦・AO入試の募集人員増加

私立大

- ◆文系人気は国際関係学系統を中心に継続
- ◆「入学定員の厳格化」の影響

入試変更に関する注目点

- ◆英語外部試験の入試活用の広がり
- ◆面接や志望理由書等の導入
- ◆後期日程廃止の影響

2017年9月実施 第1回
ベネッセ・駿台マーク模試

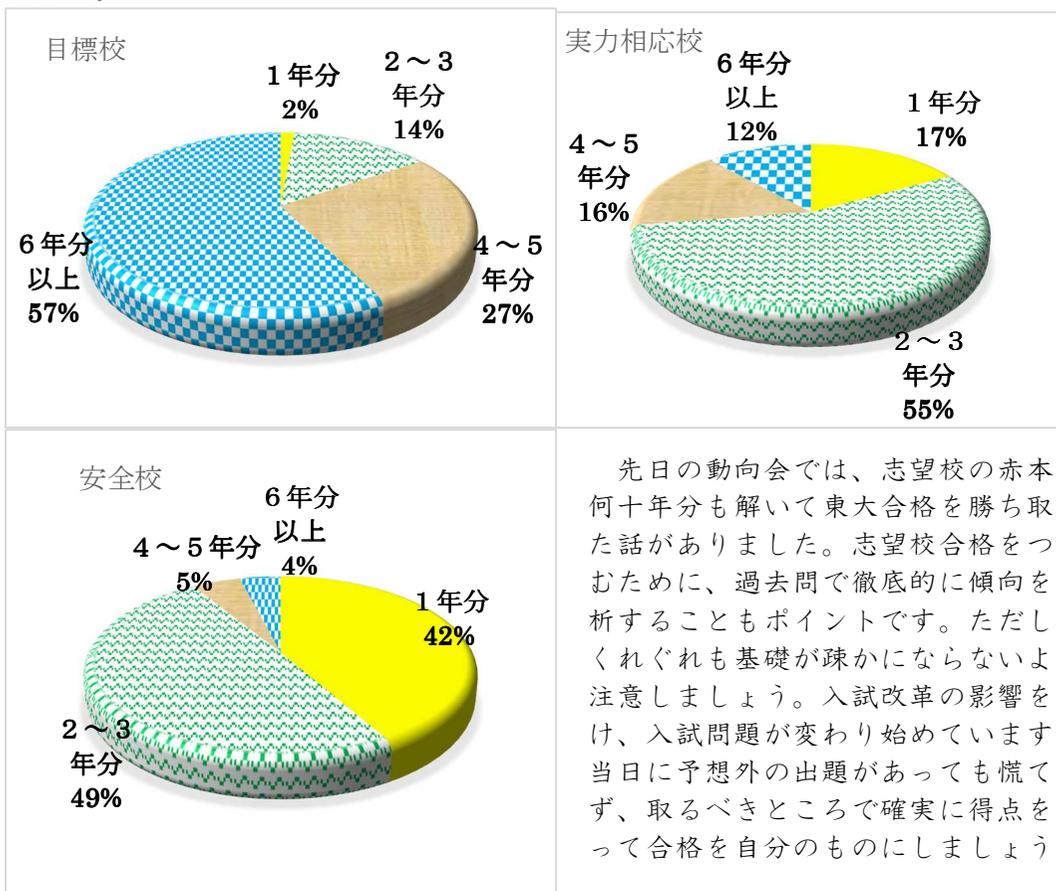
総受験者：429,385人
現役生：385,153人
既卒生：44,232人
全国最大で、受験本番に近い母集団で実施される模試

→「弱気は最大の敵！」と思い、併願対策をしっかり立てた上で志望を買おう。

◎赤本はどのくらい解いていますか？

職員室も進路指導室の赤本も借りる人が増えてきました。みなさんは、受験までにどのくらい赤本を解く予定でいますか？

先日出席した説明会にこのような資料があったので、ご紹介します。参考にしてください。



先日の動向会では、志望校の赤本を何十年分も解いて東大合格を勝ち取った話がありました。志望校合格をつかむために、過去問で徹底的に傾向を分析することもポイントです。ただし、くれぐれも基礎が疎かにならないよう注意しましょう。入試改革の影響を受け、入試問題が変わり始めています。当日に予想外の出題があっても慌てず、取るべきところで確実に得点を取って合格を自分のものにしましょう！

◎入試変更点からもわかる英語資格利用の拡大

最近は毎年のように入試変更が行われています。なかでも英語資格の利用に関係した変更が年々増えています。一部を紹介しますので、要項で詳細を確認しましょう。

【早稲田大】 国際教養〔一般〕 英語外部試験の利用可能（リスニング廃止）

【東京理科大】 グローバル方式入学試験を全学的に実施

英語の資格・検定のスコア・級に応じた加点（20点）

+

大学独自試験（数学・理科の300点）の

計320点満点で判定

【明治大学】 国際日本〔一般〕 英語外部試験で一定の基準を満たす場合、一般選抜の英語を満点にできる

商〔一般〕 英語4技能試験利用方式を新規実施

【立教大学】異文化コミュニケーション〔一般〕全学部日程グローバル方式の出願資格における英語基準がCEFR B2にレベルアップ

5年生へ 文・法・経済・社会・観光・コミュニティ福祉、理学部では、2019年度

入試(全学グローバル)で、英語外部試験の出願要件に英語技能別基準点を追加

【東洋大学】①スコア・対象検定の変更

文・法・経済・社会・国際観光・国際、総合情報、理工、生命科学、食環境科学、ライフデザイン〔一般〕

②外国語の代わりに英語外部試験利用可
経営〔一般〕

※各学部のセンター利用方式においても英語資格に関する変更が多いので確認しておこう。

★その他、英語外部試験利用が可能になった大学

【法政大学】法・理工学部〔一般〕

【東京都市大】全学部統一・一般前期 英語外部試験利用

★ここに挙げきれないほど、対象資格やスコアがアップした大学も多くあります。

◎4・5年生へ ～推薦・AO入試を考える場合～

先日、5年生を対象に説明会を行いました。4年生も利用を考えるならば、今から準備を考える必要があります。

しかし、その前によく考えてください。

進路ノート（P8～18）を確認！

①推薦やAO入試が拡大している今、難関大に限らず、課される内容や求められる力も年々レベルの高いものが要求されています。

- 定員枠の少ない推薦やAO入試で合格するためには、準備にかなりの時間を要する。（提出書類、課題準備、面接練習など、準備はいろいろ）
- 一般入試の準備まで手が回らず、合格できる学力を養えない可能性が高い。受験準備が本格化し、伸び悩む2学期に試験があることのリスク
- 合格できる小論文を書く力を付けるまでには、かなりの準備と時間を要する。入試科目をもう1つ増やすだけの余力があるのか？

②明確な志望理由、充実した内容の活動報告、具体的な学修計画や大学卒業後の展望を表現する力も求められています。

- 学部・学科を選んだ理由に加え、数ある大学の中で何故その大学か？
- A4版1枚に「活動報告」を書くことが求められる大学も増加中。部活動以外の内容を2～3つ書くことができるよう、低学年から段階的に、さまざまな経験を積み上げていく必要がある。（学びの内容と関連させ、学び得たことを記述）
- 将来を具体的に考え、大学での学びを将来どのように活かしていきたいかをA4版1枚に書くことを求める大学も増加中。

安易に利用を考えることはやめましょう。第一志望合格をつかむためにも、一般入試で合格する基礎力を付けた上で利用を考えるようにしてください。先生に小論文の指導を

お願いする場合、志望校や入試形態、課される内容などをきちんと伝えるように！

◎新高校1年生から調査書が変わります ～4年・5年も無縁ではないかも？～

2020年度の入試改革は4年生、5年生には無関係でしょうか？ 油断は禁物！

ここまで取り上げてきたように、大学入試改革に向けて、さまざまな点で各大学が入試制度を変更しています。昨年入試問題においても新入試を意識した問題を出題する大学も出始めました。

入試問題だけでなく、「調査書」の扱いが変わることも知っていますか？

※「調査書」は入試形態を問わず、出願時に提出する成績書類です。担任の先生が作成。

みなさんは、記載できる内容がありますか？（推薦・A O利用希望者は特に！）

★調査書 一般入試（新名称：一般選抜）でも活用

「指導上参考となる諸活動」の欄が見直されます

- 各教科・科目および総合的な学習の時間の学習における特徴等
- 行動の特徴、特技等
- 部活動、ボランティア活動、留学、海外経験等
 - *具体的な取り組みの記載が求められています
- 取得資格・検定
 - *資格や検定の内容、取得スコア、時期などの記載が求められています
- 表彰・顕彰等の記録
 - *各種大会やコンクールなどの内容や時期等の記載が求められています
- その他

特に4年生は制度が変わる境目なので、一般入試での調査書の扱いが変わる大学があるかもしれません。ミライの自分のために積み重ねを！

◎大学入学後に留学を希望する場合～大学の制度を早めに確認！～

大学時代に「海外留学をしたい」と考えている人もいることと思います。大学ごとに留学制度（支援、選抜方法、学費、単位認定等）が異なります。留学できると思って入学したら、「思っていたのと違って行けなかった」という卒業生もいます。現在は、カリキュラムの中に留学が必須となっている大学もあります。その一部を紹介しますので、自分の関心のある大学にも同じようなカリキュラムがないか確認してみましょう。

日本人学生の留学は増加傾向。年間85000人が留学。
男子：女子
4：6

★留学必須の学部のある主な大学（首都圏エリア）

大学	学部・学科	留学期間
国際教養大学	国際教養	1年
千葉大学	国際教養	定めなし、最低1回
早稲田大学	国際教養	1年
青山学院大学	地球社会	半期
学習院大学	国際社会	4週間以上（期間選択）
法政大学	国際文化	5週間以上（期間選択）
法政大学	法・国際政治	10日間 or 3～4週間
立教大学	異文化コミュニケーション	12～16週間
立教大学	経営・国際経営	3週間
東洋大学	国際・グローバル	8～9ヶ月（最大1年）
東洋大学	国際・国際地域	5週間
明治学院大学	法・グローバル法	半年
武蔵野大	グローバル・グローバルコミュニケーション	5ヶ月
亜細亜大学	国際関係・国際関係	5ヶ月
千葉商科大学	国際教養	8週間
帝京大学	外国語	1学期

昭和女子大学

国際

5～17ヶ月